

平成24年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	独立行政法人国立がん研究センター運営費		担当部局庁	医政局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度～		担当課室	国立病院課		課長：片岡佳和	
会計区分	一般会計		施策名	IV-1-5 政策医療を向上・均てん化させる			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	独立行政法人通則法(平成11年法律第103号)第46条		関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	独立行政法人国立がん研究センターが行う業務(がんその他の悪性新生物に係る医療に関し、調査、研究及び技術の開発並びにこれらの業務に密接に関連する医療の提供、技術者の研修等)にかかる経費の一部に充てることにより、同センターの業務の円滑な実施及び同業務の推進に資すること。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	我が国のがん対策の中核的機関として、がんその他の悪性新生物に関し、研究・開発、医療提供、医療従事者の研修、情報発信、政策提言等を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input checked="" type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		当初予算	8,803	8,755	8,204	8,908	
		補正予算					
		繰越し等					
	計	8,803	8,755	8,204			
	執行額	8,803	8,755				
執行率(%)		100.0%	100.0%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)
	研究や技術の開発等について、複数年にわたり継続的に行われる事業においては、単年度ごとに、また定量的な成果目標の設定は、困難である。	成果実績	-	-	-	-	-
		達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	英文論文数 ※活動実績は、暦年による集計	活動実績 (当初見込み)	本	-	570	582	-
単位当たりコスト	- (円/ -)	算出根拠					
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	事業費等	8,204	8,908	臨床研究推進事業に係る経費の増			
	計	8,204	8,908				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	我が国のがん対策の中核機関として、がんその他の悪性新生物に関し、研究・開発、医療提供、医療従事者の研修、情報発信、政策提言等を行っていることから、優先度の高い事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	我が国のがん対策の中核機関として、がんその他の悪性新生物に関し、研究・開発、医療提供、医療従事者の研修、情報発信、政策提言等を行っていることから、国が実施すべき事業である。
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	—
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	「独立行政法人の事務・事業の見直しの基本方針」(平成22年12月7日閣議決定)を踏まえ、契約の徹底した適正化に取り組んでおり、競争性、透明性は確保されている。
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	—
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	—
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	—
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	「独立行政法人の事務・事業の見直しの基本方針」(平成22年12月7日閣議決定)を踏まえ、契約の徹底した適正化に取り組んでおり、競争性、透明性は確保されている。
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	当センターの事業目的を遂行する実効性の高い手段と考えている。
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	—
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	—
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	—
	—	※類似事業名とその所管部局・府省名	—
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	主に研究・開発等に活用しているが、その結果、英文論文を発表するなど、十分、活用されている。
点検結果	事業の目的や必要性等について精査した結果、現段階では、特段問題はない。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	独立行政法人国立がん研究センター運営費については、センターが行う業務にかかる経費の一部に充てるためのものであり、必要性や執行の観点からの評価も概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めるべき。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	引き続き、事業の目的や内容を踏まえながら、経費を精査しつつ、必要な予算の確保に努めるとともに、適正な執行を行ってまいりたい。		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
—			
関連する過去のレビューシートの事業番号			

※平成23年度実績を記入

厚生労働省
8,755百万円

[運営費交付金]

独立行政法人国立がん研究センター
8,755百万円

国立がん研究センターの運営に必要な経費の一部
(国期間の退職金等、不採算医療、臨床研究)

【一般競争入札等】
A. 東邦薬品株式会社
2,974百万円
(医薬品等購入費)

【一般競争入札等】
B. 株式会社メディセオ
2,636百万円
(医薬品等購入費)

【一般競争入札等】
C. 株式会社イノメディックス
2,055百万円
(医療品等購入費)

【一般競争入札等】
D. 株式会社スズケン
1,979百万円
(医薬品等購入費)

【一般競争入札等】
E. 日本アイ・ビー・エム
1,839百万円
(コンピュータ運営委託費等)

【一般競争入札等】
F. アルフレッサ株式会社
1,396百万円
(医薬品等購入費)

【一般競争入札等】
G. 株式会社MMコーポレーション
1,287百万円

【一般競争入札等】
H. 岩井化学薬品株式会社
1,239百万円
(材料購入費等)

【一般競争入札等】
I. 日本空調サービス株式会社
1,034百万円
(清掃業務委託費)

【一般競争入札】
J. 東京電力株式会社
741百万円
(電力料)

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて補足
する) (単位: 百万円)

A.東邦薬品株式会社			F.アルフレッサ株式会社		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額(百万円)
医薬品費	医薬品購入	2,906	医薬品費	医薬品購入	1,393
診療材料費	診療材料	45	給食用材料費	給食用材料	1
研究材料費	研究材料	7	消耗品費	消耗品購入	1
医療器機保守委託費	医療器機保守委託	6	材料費	材料購入	1
修繕費	修繕	6			
給食用材料費	給食用材料	2			
職員厚生費	医薬品購入	1			
消耗品費	消耗品	1			
計		2,974	計		1,396
B.株式会社メディセオ			G.株式会社MMコーポレーション		
費目	用途	金額(百万円)	費目	用途	金額(百万円)
医薬品費	医薬品購入	2,634	診療材料費	診療材料購入	678
材料費	材料	1	医療用器械備品取得支出	医療用器械備品取得	499
研究材料費	研究材料	1	消耗品費	消耗品購入	49
			修繕費	修繕費	37
			医療器機保守委託費	医療器機保守委託	20
			医療器機賃借料	医療器機賃借	3
			医薬品費	医薬品購入	1
計		2,636	計		1,287
C.株式会社イノメディックス			H.岩井化学薬品株式会社		
費目	用途	金額(百万円)	費目	用途	金額(百万円)
医薬品費	医薬品購入	6	材料費	材料購入	827
材料費	材料購入	1,430	その他固定資産取得支出	固定資産取得支出	225
医療用器械備品取得支出	医療用器械備品購入	452	委託費	委託費	111
医療消耗器具備品費	医療消耗器具備品購入	112	消耗品費	消耗品購入	50
修繕費	修繕	36	医薬品費	医薬品購入	17
医療器機保守委託費	医療器機保守委託	10	修繕費	修繕	9
医療器機賃借料	医療器機賃借	9			
計		2,055	計		1,239
D.株式会社スズケン			I.日本空調サービス株式会社		
費目	用途	金額(百万円)	費目	用途	金額(百万円)
医薬品費	医薬品購入	1,968	委託費	清掃・測定・業務支援等委託	998
診療材料費	診療材料	9	修繕費	修繕	33
給食用材料費	給食用材料	2	消耗品費	消耗品の購入	3
計		1,979	計		1,034

費目・用途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)

E.日本アイ・ビー・エム株式会社			J.東京電力株式会社		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額(百万円)
コンピュータ運営委託費	コンピュータ運営委託	1,008	電力料	電気料金	741
情報システムリース料	情報システムリース	820			
消耗品費	消耗品	9			
修繕費	修繕	2			
計		1,839	計		741

支出先上位10者リスト
国立がん研究センター

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東邦薬品株式会社	医薬品、検査試薬、医療材料	2,974		
2	株式会社メディセオ	医薬品、検査試薬、医療材料	2,636		
3	株式会社イノメディックス	医療材料、医療機器	2,055		
4	株式会社スズケン	医薬品、検査試薬、医療材料	1,979		
5	日本アイ・ビー・エム株式会社	情報システム機器賃貸借、保守、運用	1,839		
6	アルフレッサ株式会社	医薬品、検査試薬、医療材料	1,396		
7	株式会社MMコーポレーション	医療材料、医療機器	1,287		
8	岩井化学薬品株式会社	医療材料、医療機器	1,239		
9	日本空調サービス株式会社	施設設備管理(ビル管理)業務委託、清掃業務委託	1,034		
10	東京電力株式会社	電力会社	741		

- * 1 自己財源を含む支出額である。(当該予算事業の遂行・支出にあたり交付金以外の財源が補填され、一体的に支出を行っているため。)
* 2 「入札者数」及び「落札率」については、入札案件(契約案件)が複数含まれている。